

## 2025（令和7）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和7年7月22日（火）午後6時00分～
- 会 場 音別町コミュニティセンター 研修室1・2・3
- 出席者 15人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

- （1）釧路都心部まちづくり計画について
- （2）釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例の制定について
- （3）釧路市の財政状況及び事務事業の見直しについて
- （4）水道料金の改定について
- （5）音別地区の取り組みについて

### ●質疑応答

【参加者A】

都心部の跨線橋整備について、いろいろな案がありますが、どの案がいくらで維持費がいくらなのか、はっきり言ってここに来ている音別の人は、全員これは要らないと言うと思います。観光客が来るのは和商市場かMOOで、市内の人には、こども遊学館が多く利用されていると思います。

私はまず北大通を活性化させて、都心部を訪れる人数が増えて活性化し、行くのが不便になったので、こういった案を考えますというのが順番だと思います。先に通行だけを良くして、後から北大通を活性化できなかつたら、何のために高いお金をかけたのかということになると思います。

【都心部まちづくり担当部長】

一般的な費用のお話がありましたので、先にお答えします。A3カラー版の資料の表面の右下に、大変古くて申し訳ありませんが、参考として市が独自で算出した概算事業費を記載しています。最初の説明の中で、老朽化した跨線橋2橋を架け替えるだけでも多額の費用がかかりましたと言いました。そちらについても算出年度が古いものですが、平成19年度に市が独自で算出した事業費は当時83億円です。ただ、その後、人件費や物価が高騰していますので、これ以上の事業費がかかるということが予想されます。

鉄道を高架化したらいくらかということに関しましては、A3カラー版の資料の表面右下の緑色で示したところの①番、鉄道高架整備は平成28年度の算出で96億円を概算事業費としましたが、こちらも現在はもっと上がっている

ものと予想しています。

先ほども説明しましたが、北中跨線橋や旭跨線橋など老朽化しているものがありますので、何かをやらなければならないという中で、最新の事業費がいくらかということに関しては、当時市が算出した事業費は線路が何本あって、もし高架化したら延長はどのくらいになるか等を想定し、標準的な工法や他都市の事例などを参考に算出したものです。今後の詳細な事業費については鉄道事業者の判断で「この場合は線路を切り替えないとできない」等がありますので、ABCどの案もそうですが、JRに賛成していただく必要がある関係で最新の概算事業費は明示できない状況です。

そして、まちづくりの考えに関しましては、今回跨線橋の架け替えをするだけでは言わば元通りで、まちのにぎわいは変わらないと説明しましたが、鉄道を高架化すると下に新しく土地やJRの不要な用地ができますので、その新しく生み出される土地を活用し、そこに人が集まるような公共施設等を配置してにぎわいを創出するというまちづくりを考えています。

#### 【市長】

今回の鉄道高架と都心部まちづくりの計画ですけれども、音別町にお住まいの方にとっては少し遠くてあまり関係がないと思われる方が多いかもしれません。ただ、今回ちょうど音別の跨線橋の架け替えもあります。これも音別の皆さんが長い間要望されて、それで長い間JRと調整しながら今回架け替えに至っています。老朽化したものは橋でも道路でも更新していくということが行政の役割の一つです。今回、北中跨線橋や旭跨線橋ももう50年以上経っていて、これからさらに補強というのでは維持管理費も危険性も高くなります。そういった老朽化したものをしっかり更新していくために、今回鉄道高架事業に国の連続立体交差事業という補助割合の高い補助事業も活用できる可能性がありますので、そういったことも含めて進めさせていただきたいと思っています。そうなった時に、北大通と共栄大通は昔から要望されているように直線で結んでいきたいという考えで進めさせていただいています。北大通の活性化という中で、空きビルの解体も進めていく予定ですので、そういったことも含めて、活性化がどこまでできるか保証はできませんけれども進めてまいります。

#### 【参加者B】

太陽光発電について質問です。釧路湿原などに建っている太陽光発電施設の土地は貸与ですか買い取りですか。

【市民環境部長】

太陽光事業を行う際、基本的に事業者が土地を取得して行っています。

【参加者B】

分かりました。環境の問題もありますが、一般的にこれをステップとして外国勢力がその土地を取得する問題についてお伺いします。国家は人と領土、そして憲法で成り立っている中で、この領土・領域の部分について検討の必要はないのか質問したいと思います。

【市長】

お気持ちは分かりますが、国の法律を変えないと難しいです。外国人の土地取得について、例えば外国人が株主や役員の1人になっていて、それで会社で土地を取得するということを止められる法律には今なっていませんので、我々が条例で定めてもできることではありません。申し訳ありません。

【参加者B】

それを分かった上で言いました。その部分について、この太陽光発電施設の問題をステップにして国に訴えていく努力が必要と思います。できる・できないは抜きにして、地方自治体からの問題提起という意味で非常に大事と私は思っています。答えは要りません。

【参加者C】

水道料金の値上げについて、あちこちで騒がれているような事故が起きないうちに、施設等の老朽化を含めて改修等もあるかと思えます。今回は上水道だけの料金改定と先ほど説明がありました。下水道も同じ水を使っているのに、下水道普及率の関連でそれぞれ事情があって下水道の整備がされている所とされていない所もあることも踏まえ、上水道のみの料金改定は片手落ちかと思えます。上水道と下水道を合わせて、上水道の分の値上げ幅の2分の1か3分の1くらいの値上げ幅で、利用されている水の量に応じた負担をしていくべきではないかと考えています。

【上下水道部長】

確かに水は循環していて、水をつくって皆さんに使っていただいて、その後流してもらって下水道施設を通して排水され、また雨になって水ができてきます。そういった一連の流れはありますが、公営企業としては上水道と下水道とに会

計が分かれ、持っている施設・管それぞれにかかるお金を出し、それぞれに水道料金・下水道使用料という形で料金をいただいて成り立っている会計です。2つ一緒の会計でしたら料金が両方上がるというのは分かるのですが、それぞれ会計ごとに歳入・歳出を算出したところ、水道料金の方が料金の値上げが必要になったということです。

#### 【参加者C】

上水道と下水道で会計が別、基本ですというのは分かるのですが、使われている水は同じものではないのかなということだけです。私の単純な疑問点です。ですから、下水道の部分が賄っているから良いということではなくて、上水道の部分に、言葉が変ですけども、どんぶり勘定と言ったら怒られますけども、そういった類の方法も一つあるのではないかなという、そのことだけです。回答よろしいです。

#### 【参加者D】

駅前開発について質問があります。バスの便が悪くなり、音別町から市立釧路総合病院に通院する方はJRを使って、駅からタクシーに乗っています。往復の交通費だけで4千円近くかかっています。帰りはバスで来る方もいますが、バスだとかなり安くなります。個人的には鶴間市長案のB案がもっともな案だと思います。そこで、バスの乗り降りをするバスセンターを高架の下に設定していただきたいです。濡れなくて済む、雨風が防げる場所にできないですか。

あと、前の市長の時も言いましたが、市立釧路総合病院の方には年齢的に退職してもまだ仕事ができる医師や看護師がたくさんいます。そういう方の有効利用というわけではありませんが、駅前や駅に市でビルを建てるのであれば、内科だけでも良いので病院のサテライトを作っていただきたいです。簡単なレントゲン装置と採血と投薬くらいをやって、経過観察ができれば素晴らしいと思います。これをやるのであれば、同時に災害用のマンホールトイレをたくさん作っていただきたいです。

#### 【都心部まちづくり担当部長】

先ほどABC案を説明しましたが、まずはその道路の形を決めた後に、例えばバスターミナルをどこにするか、駅の南側なのか北側なのか、高架下なのかということに関係者と協議しながら、配置について検討していきます。まずは道路の形を決めて、それからそれに合わせて案を作成して関係者と協議して検討していきますので、高架下にバスターミナルが入るということも当然、検討案の一つ

として考えられます。まだどれとは決まっていません。

また、防災についてのお話もありましたが、当然駅前広場にはいろいろな役割があり、JRとバスの乗り換えという交通的な役割や、人が滞留することから、にぎわいや交流を創出する役割、玄関口として市の顔となる施設の他に、防災の関係で一時避難の場所としての機能も考えられますので、ご意見についてありがたくいただきます。

#### 【市長】

病院について、クリニック的なものをイメージされていると思いますけれど、一気にやったら良いなというのは確かにその通りです。その辺りも含めて、公共施設や機能も今後の検討になってくると思います。今現在も、市立釧路総合病院の先生方や看護師の皆さんは退職後も会計年度任用職員として頑張っています。我々はプラチナナースと呼んでいます。このような協力を含めて、今後検討させていただきます。

防災についてもまだこれからですが、どのような機能を持たせるかということも、基本的にはJRの施設になりますので、マンホールトイレなのかテント型トイレなのか、どういった形でトイレが必要なのかも含めて、防災の側面からも検討課題の一つとして挙げていきたいと思っています。

#### 【参加者E】

福祉保健センターの内部改修工事について、福祉事務所と社会福祉協議会が一緒になって、機能を一つにするのは分かります。良いことだと思っています。ただ、他の会議の席でも言いましたが、前の担当者からは社協は荷物もないからこれだけのスペースがあったら良いという話だと聞きました。施設の中で特殊浴槽を設置している部屋がありますが、10年以上使われていません。この先も使用しないのであれば、今回の工事に合わせて撤去し、一つの部屋として物置などにも活用できると提案してきましたが、この図面の中では反映されていなく、機能を一つにすることは良いことですが、細かいところが煮詰められていない気がしますし、今後、特殊浴槽を更新する計画がないのであれば、撤去することによって一つの部屋を確保できるわけですから、なぜ有効的なことを行わないのか疑問です。

#### 【音別町行政センター長】

移転協議を行う中で、社会福祉協議会音別支所においても、改修後の施設に荷物を保管できることは確認されています。ただ、音別支所もすぐに解体するわけ

ではないので、現状、必要な部分だけ持ってきたうえで、同じような機能が合わさることで不要となる物もでてくると思いますので、そういったことを含めて精査を行い、最終的な量を確認し、その場所もあるという保険を持ちながら進めていきたいと思っています。

【参加者A】

都心部の整備について、一連の工事は釧路の業者が施工可能な内容でしょうか。地元業者が請け負いますと税金も入りますが、東京などに本社がある大手の業者が受注すると税金が入ってこないことになります。地元の業者が施工できない工事内容であれば仕方ありませんが。

【都心部まちづくり担当部長】

鉄道を高架する事業については、鉄道事業をよく施工している大手業者でなければできないと思いますが、例えば高架下道路については、通常の道路工事と変わらないので、市で発注する道路工事を受注している業者で可能と考えています。

【参加者A】

ふるさと納税について、先日の新聞報道でサケが取れなかったなどの理由で今年は伸びなかったとありましたが、おかしいですね、根室市と白糠町はすごいです。ふるさと納税の一番大事なことはリピーター率だと思います。市役所の人事でも若くてアイデアを持ちやる気のある人、スピード感がある人、希望者を集めるなど、そういう部署を置いて納税額を増やしていく取り組みを行う必要があると思いますので、検討をよろしくお願いします。

【市長】

今年4月にマーケティング戦略室を作り、現在、課題の洗い出しや品物を増やすなど、さまざまな取り組みを行っています。ふるさと納税のこれまでの取り組みは足りない部分があったと思っています。戦略室のメンバーは非常にやる気をもって職務にあたっていており、市役所職員は本当に優秀な人ばかりと私は日々感じています。そういった中でも得手不得手、それぞれありますから、皆さんに力を発揮していただけるような体制の構築についても、今後の検討課題の一つとさせていただきたいと思っています。

【参加者D】

太陽光パネルの件で何点か質問、お願いをさせていただきます。

説明資料の中で「住民説明会」と記載がありますが、これを「市民説明会」に変えていただきたい。住民ですとパネルの設置場所から半径500メートル、1キロメートルと範囲が決められるので、釧路市の市民説明会ということをお願いしたい。

廃棄費用の積み立てについて、国内積み立てでお願いしたいと思います。例えばインドネシアの会社がインドネシアに積み立てても意味がありませんので。また、釧路市の市債を買っていただくことも面白いと思います。

損害賠償責任保険の加入について、国内の保険会社に加入していただきたいと思います。何かありましたら実際に取れる形にした方が良いでしょう。

特別保全区域について、特定保全種5種すべてと記載されていますが、これは5種すべてがいるところしか保全しないということですか。

【市民環境部長】

今回は釧路湿原国立公園の南側を特別保全区域としましたが、これまでの議論の中で、この地域に太陽光パネルの計画が集中しており、まずこの地域を何とかしなければという皆様からの意見が出発点になっています。この地域を守るには湿原特有のというところがポイントになるものですから、この5種が揃っているところという根拠をもって、規制をかけたいということになります。

【参加者D】

そうしますとほとんどがキタサンショウウオの生息域に実際はなるのでしょうか。

【市民環境部長】

キタサンショウウオも特定保全種にしておりますので、キタサンショウウオがいて、かつ、残りの鳥4種の生息可能性が高いところを指定したということになります。

【参加者D】

音別のパシクルはならないってことですね。

【市民環境部長】

今回、パシクルは指定していません。

【参加者D】

パシクルではつくれるということですか。

【市民環境部長】

今の条例ではつukれないことになっておりません。ただ、釧路全域でどういった地域に規制をかけて守っていくべきか、一回立ち止まってきちんと議論が必要と思っております。今年度、新たな専門家の方々のご協力を得まして検討を始めます。これは2年、3年かけまして、どこを守っていくべきかしっかり検討を進めていきます。

パシクルについては、検討地域になっているわけではありませんが、環境省の重要湿地にも指定されているので、検討の話題に挙がってくると思っています。

【参加者D】

5種だけではなくて、国が特別地域にしているような場所も含むと入れていただきたい。

【市民環境部長】

法律の裏付けのあるところは禁止区域にします。重要湿地については、国で線引きをしていないものですから、市としては法律を超えてということがネックとなっており、重要湿地というだけでは指定はできないことになっております。

【参加者D】

パシクルはつukれてしまうということですね。

【市民環境部長】

今の法律をクリアすればつukれることになっており、条例ではできないということにはなっていないので、法律をクリアしていれば、つukれるという立て付けになっています。

【参加者D】

つukれない立て付けにはできないということですね。

【市民環境部長】

現状では合理的な理由が難しく、できないことが残念です。

【参加者E】

緊急事態の事業継続計画BCPについて、連絡体制の上位に来る人は課のトップの人だと思いますが、音別の場合、釧路から通勤している人が多いイメージがあって、災害があったときに一番重要となるポストも釧路から来る状況です。40キロメートル離れますと気候や災害の状況も変わります。

今年、大雪が降りましたが、釧路と音別では積雪の量が全然違い、結果的に指示を出す責任者と話が全然通じないために、あのような状態になってしまって、国道が通れないときは、どこを通ると音別の職場に行つて真っ先に対応が可能か把握していると、全然違ったことになっていたと思います。

今回はそういった連携体制が取れてなく、2日間も国道が通行止めとなり、交通規制が入ったりしていますので、音別にいる人が状況を釧路にいる人にしっかり伝えられる連絡体系を、BCPの体制連絡網をつくらないと、絵に描いた餅になると危惧しています。そういったところを考慮して見直しを行っていただきたいと思います。

【都市整備部長】

音別地区の除雪体制については、音別建設課において除雪指示等を基本的に出示しますが、そういった釧路全体の指示等を取りまとめる体制を取っております。音別地区の除雪基準自体は、降雪量などを勘案して出動するようにしておりますが、先日の大雪の際はそれが間に合わず、ご迷惑をおかけしたところです。

天候のことなので、事前に予測できる部分と予測できない部分はありますが、そういった情報を逐次取り入れながら、対応していきたいと考えています。

【市長】

音別の出身者や音別に住んでいる人がセンター長にというご意見ですが、別のご意見があったりするとも思っています。

【参加者E】

音別の人でセンター長になれば良いというわけではなく、責任者が釧路に住んでいても、こういう状況ですと連絡体制がしっかりできて、早く体制を構築して動かなければならないという意味です。音別の状況を連絡でき、すぐ指示を出せる体制を考えていただきたい。

【市長】

緊急時の体制については、皆でカバーし合えるような体制を作っていきます。

【参加者D】

携帯電話について、音別地区は光ファイバー一本でつながっており、地震などでその電柱が一本倒れただけで途絶えると聞いています。市役所からは衛星電話があるから大丈夫とお話がありましたが、衛星電話は雪や雨の日は通じませんので、災害時に衛星電話が使用できない場合、どのような手段で本庁と連絡を取り合うのですか。

【音別町行政センター長】

現在あるインフラが無くなった場合には、取れないと思っています。

【参加者D】

音別で連絡が取れるのは警察の無線電話だけです。また、学校に緊急地震速報装置が無く、一斉放送に必要な装置は10万円もしませんので、機械自体をぜひ設置していただきたい。音別地区は速報が入ってから、行政センターから学校に電話連絡すると言っています。連絡する頃には、もう津波がきているかもしれませんので、ぜひお願いします。

【参加者A】

氷都くしろと言われておりますが、今はプロアイスホッケーチームもありませんし、連盟の会長も代わられました。現在、釧路厚生社さんで小さい子どもたちを集めたイベントなどに取り組んでいます。子どもたちの試合の動画配信など、市とアイスホッケー連盟が協力することで、氷都くしろとして取り組めることがあると思いますので、検討していただきたいです。